

第81回例会

## 模擬授業指導から考える

—理論と実践の関係と教師教育者の専門性—

■ 話題提供 ■

後藤賢次郎さん (山梨大学)

斉藤仁一朗さん (東海大学)

■ 日時 ■

2022年2月27日 (日) 10:00~12:00

オンライン開催 (Zoom) ※参加費無料 要事前申込

お申込は[こちら](#)から

※非会員の方もご参加になれます。



「模擬授業」—実際に指導する児童生徒に対してではなく、学生同士で計画、実践する授業—という場が、教員養成課程をはじめプレサービス段階において持たれるのは、珍しいことではない。教員養成課程においては、学校種や教科、分野を問わず、座学形式の講義では身に付かない「何か」を期待して、模擬授業を自身の担当科目に取り入れている例も多い。しかし、そうした期待が寄せられている一方で、授業ができるためには実践させれば良い？理論も必要？そもそも理論って何？模擬授業指導の根拠って何？私の専門としてどこまでやれる？など、私たちはその指導に戸惑うことがあるのではないだろうか。

そこで、本例会では、「模擬授業」指導を切り口に、その教科・分野において、「理論を教える」「実践を教える」とは何を意味するのかについて、多様なバックグラウンドを持つ参加者とともに、洞察を深める。具体的には、まず、社会科教員養成における模擬授業に関し、話題提供を行う。それを踏まえ、「その教科や分野において、指導が実際に「できるようになること」と授業を理論的に理解することとの「ずれ」について、全体でディスカッションを行う。

言語文化教育研究学会 企画委員会

Email : [project@alce.jp](mailto:project@alce.jp)

